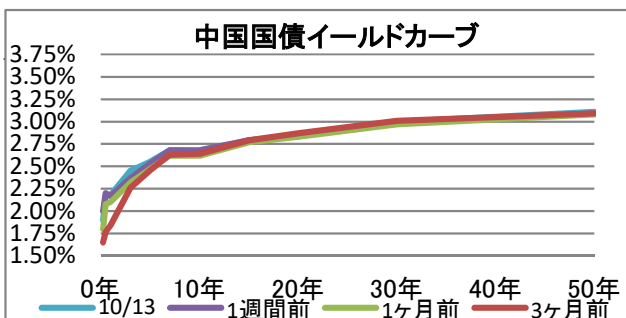
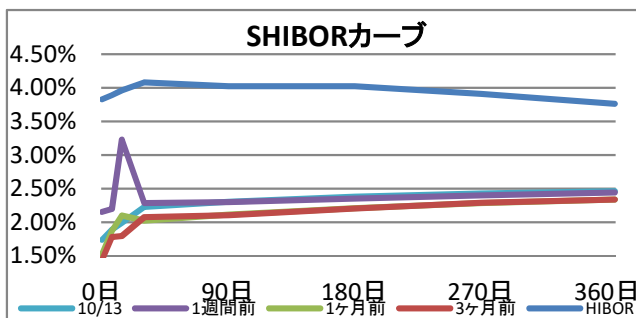


基準レート		2023/10/13	(9月末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1775	-0.0023
	JPY/CNY	4.8258	-0.0140
SHIBOR	3M	2.3080%	+0.0060%
国債利回り	10年	2.67%	+0.01%
上海総合指数		3,088.10	-22.38



(1) 概況

国際金融市場では、米下院議長解任による混乱や前週の好調な米雇用統計を背景に債券利回りが上昇していたものの、中東情勢の悪化やFOMCメンバーのハト派発言、FOMC議事要旨による追加引き締め懸念後退により利回りは低下に転じ、米CPIでの根強いインフレ確認後に一旦利回りは上昇したものの、消費者心理の悪化等が確認されると、再度低下に転じ、株式市場も金融引き締め懸念後退により底堅く、外為市場ではドルが買い戻される展開となった。

中国金融市場では、連休中の個人消費が区々と伝わる中、政府の財政政策拡大による景気刺激関連報道により、債券市場では増発懸念から上値が重くなる一方、株式市場では、景気刺激策や政府系ファンドによる国有商業銀行株買い増し公表等の好材料への注目は限定的となり、不動産会社の債務問題や内需の弱さを示す経済指標が意識され、上値の重い展開が続いた。外為市場では、ドル安を背景に元が7.27台まで強含んだものの、下値は固く、7.30台に戻して週末を迎えている。

中国では、習主席が米議員団との会談で米中関係の安定の重要性を強調し、李総理がエコノミスト・企業経営者等との座談会で、経済政策の策定等では質の高い発展に焦点を当てるとともに合理的な成長も維持する必要性に言及。潘人民銀行総裁は、G20財務大臣・中銀総裁会議等で、実体経済支援のため、的を絞るより効果的な金融政策を推進すると強調し、同行金融政策局長は、記者会見で対通貨バスケットでの人民元レートは安定しており、ファンダメンタルズから逸脱していないと強調。その他の人民銀行関連では、金融安定発展委員会弁公室機能の中央金融委員会への移管を含む職責変更通知が公表されたほか、人民銀行の内部会議では、地域金融改革の推進方針等が示され、クロスボーダー人民元決済システムが初めて大型連休中も稼働し決済サービスを提供。この間、中国政府が積極的な財政政策に転じ、1兆元(約20兆円)以上の国債追加発行や財政赤字拡大を容認する方向との報道があったほか、中国政府系ファンドが株債支援等のため4大国有商業銀行の株式追加取得と今後6ヶ月間に亘る取得継続を公表。不動産関係では、恒大集団のオフショア債務再編計画が規制当局の要求未達との報道や、不動産大手・碧桂园がオフショア債務の返済不履行の可能性を公表。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日16,220億元に対し、リバースオペ4,460億元を実施し、ネットで11,760億元を吸収。

(3) 主な経済指標

- ・CPI(9月)は、前年比+0.0%(8月、同+0.1%)に低下。交通用燃料がマイナス幅を縮小したものの、不動産販売の低迷から家電の前年割れが続いたほか、生鮮食品や豚肉価格の下落を受けた食品価格のマイナス幅拡大が全体を押し下げた。
- ・PPI(9月)は、前年比-2.5%(8月、同-3.0%)と12カ月連続の前年割れとなったが、下落幅を縮小。在庫調整進捗等を背景に原材料や加工品等生産財価格の下落幅縮小が寄与。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.7410%	1.7410%	2.0000%	
1W	1.8930%	1.9930%	2.1000%	1.8500%
2W	1.9940%	1.9800%	2.2500%	1.8700%
1M	2.2290%	2.2000%	2.4000%	2.1500%
3M	2.3080%	2.5000%	2.4500%	2.3800%
6M	2.3800%	2.5800%		2.4500%
9M	2.4280%			2.4800%
12M	2.4660%	2.8500%		2.5000%

人民銀行は、9月に供給した多額の四半期末越え資金の吸収を実施しているものの、年末が意識され始める中で債券増発への懸念を強める市場心理の悪化を懸念し、過度の吸収とならないように配慮した運営が行われているように見受けられる。ターム物の出合いは、1ヶ月の2.3%前後の出合いを除き、限定的となっている。

NCDの金利水準は、四半期末要因の剥落により1ヶ月は大きく低下したものの、3ヶ月を越える期間は年末越えとなることから低下幅は限定的となっており、1ヶ月は2.15%前後、3ヶ月は2.3%台後半、6ヶ月は2.45%前後、1年は2.4%台後半で取引されている。

(2) 米ドル資金(本土内)

	BID	OFFER
ON	5.35%	5.36%
1W	5.43%	5.45%
1M	5.70%	5.73%
3M	5.85%	5.90%
6M	5.95%	6.00%
12M	6.05%	6.10%

中国国内市場では、政策金利の高め維持長期化への懸念と、タイトな資金需給によりターム物の金利水準は高止まりが続いている。ターム物の出合いは、1ヶ月が5.7%台後半、3ヶ月は5.8%台での取引が続いている。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.90%		2.27%	2.42%	2.58%
6M	2.18%		2.42%	2.55%	2.73%
1Y	2.18%	2.38%	2.55%	2.61%	2.79%
3Y	2.45%	2.59%	2.77%	2.91%	3.37%
5Y	2.55%	2.64%	2.88%	3.13%	3.72%
10Y	2.67%	2.94%	3.10%	3.31%	3.96%

米国債券市場では、CPIを控えて週初は16年ぶりの利回り水準に高止まりしていたものの、その後、中東情勢、FOMC議事要旨、FRB高官ハト派発言等により利回りは急低下し、CPI後に一旦は上昇したものの、先行き不透明感や消費者心理悪化への懸念から再度低下に転じている。中国債券市場では、中国政府の異例の予算見直しによる財政政策での景気刺激策に伴う債券増発懸念から上値は重く、利回りは上昇していたものの、資金需給改善や先行き不透明感の高まりによる国際的な債券利回りの低下もあって、小幅な値動きに終始。この結果、米国の10年国債利回りは4.61%（9月末比+4bp）に上げ幅を縮め、10年中国国債利回りは2.67%（同、-1bp）となったことから、利回り差は+194bp（同+5bp）へと拡大が続いている。

中国債券のイールドカーブは、四半期末を越えたことによる短期の大幅な利回り低下によるスティープニングが続いた。クレジットスプレッドは、中期までは信用債利回りの低下幅が大きいことにより縮小する一方、長期では信用債利回りの上昇により拡大が続いている。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1M	-211.8 / -211.5
3M	-647.0 / -463.0
6M	-1307.0 / -1303.0
9M	-1982.0 / -1975.0
12M	-2648.0 / -2643.0

対ドル基準レートは7.1775と9月末比-23pipsのドル安元高、対円基準レートは4.8258と同-140pipsの円安元高と、引き続きドルでの大幅な元高水準の設定が続いている。中国国内市場では、米金融引締め打ち止め期待を背景とするドル安や人民銀行の元高設定継続により、週前半には7.27台での取引も見られたが、ドルの下値は固く、週後半は7.30を挟んだ小動きに終始。

先物は、米政策金利の高め維持長期化懸念から、1年物が-2700台にマイナス幅を拡大して始まったが、その後は米引締め政策打ち止め期待から-2600前半までマイナス幅を縮めて週末を迎えている。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.10%		1.56%
6M	2.08%	2.31%	1.69%
9M	2.06%	2.31%	1.68%
1Y	2.06%	2.31%	1.60%
3Y	2.26%	2.52%	1.90%
5Y	2.48%	2.76%	
7Y	2.60%	2.89%	
10Y	2.72%	3.00%	

スワップ金利は、3ヶ月が年末越えとなることから高止まりとなり、債券利回りとの差であるスワップスプレッドも拡大に転じている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入